

はじめに

伊万里市で平成19年6月から始まった「うちどく（家読）」の取組は、10年以上が経過しました。これまで市内幼稚園・保育園、学校、PTA、公民館などが中心となって、各町や校区で工夫ある主体的な取組が展開されてきました。心から感謝申し上げます。

しかしながら、この10年間の情報化社会の進展は目ざましく、子ども達を取り巻く環境も大きく変化してきました。特にスマートフォンの普及等により子どもの読書環境も大きな影響を受けており、子ども達の読書離れ、コミュニケーション力の低下などの問題が報じられています。このような状況を考えますと、改めて「うちどく推進」の重要性が今後もクローズアップされるのではないのでしょうか。

伊万里市教育委員会では、これまでの「うちどく」の歩みを確かめるとともに、現在取り組まれている地域や団体の実情などを紹介することにより、一層の「うちどく」の推進を図りたいと考え、このガイドブックを発刊しました。最初から順を追って読む必要はありません。読んでみたい項目や参考にしたいページのどこからでもご覧ください。学校で、地域で大いに活用いただきますことを期待しております。

「家族ふれあい読書」により「家族の絆」をつくることを目標としてきた「うちどく」。近年は、学校や地域へと広がりを見せています。平成28年9月の「日本一のうちどく推進のまち・いまり」宣言にあるように人と人との絆を結び、誰もがいつでも読書に親しみ、心豊かに暮らすことができる、読書によるまちづくりの実現を切に願っております。

平成30年 3月

伊万里市教育委員会